

令和4年度

境港市子ども・子育て会議 会議録

日時 ◇ 令和4年11月24日（木） 19:30 ~20:30

場所 ◇ 境港市保健相談センター講堂

出席委員 ◇ 委員13名（別添）

傍聴者 ◇ なし

会議書記 ◇ 子育て支援課児童係長 川田順子

(事務局)

お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。
これより令和4年度子ども・子育て会議を開始いたします。
会議の開始に先立ちまして福祉保健部長永井より一言ご挨拶を申し上げます。

*境港市福祉保健部 永井部長挨拶

(事務局)

続きまして、今年度の事務局より自己紹介させていただきます。

*事務局自己紹介

(事務局)

次第2番 境港市子ども・子育て会議 委員紹介

*委員自己紹介

(事務局)

それでは、本日の会議の成立につきましてご報告させていただきます。
境港市子ども・子育て会議設置要綱第6条「会議は委員の半数以上の出席がなければ開くことができない」とあります。現時点で委員全員に出席いただいておりますので、本日の会議は成立するということを報告させていただきます。

次第3番 正副会長選出

設置要綱第5条をご覧ください。

会長は委員の中から選出するとなっておりますが、会長に立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。

おられないようですので、事務局案といたしまして、境港市立図書館館長嘉賀様をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

*異議なし

副会長につきましては、会長が指名する形となっておりますので、嘉賀様にご指名をお願いしたいと思います。

(会長)

ただいま、ご指名いただきました図書館長の嘉賀です。よろしく申し上げます。

副会長については、保育園に関する専門家であるということで柏木克仁さんをお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。

(副会長)

副会長に指名されました柏木です。よろしく申し上げます。

(事務局)

ここからの議事進行は嘉賀会長をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

(会長)

それでは次第に沿って議事を進めたいと思います。

次第4 境港市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて事務局より説明をお願いいたします。

*会議資料に沿って説明

*質疑応答

(委員)

利用定員を大きく下回るため、来年度みなと保育園が休園するということですが、今年度の待機児童は、4月から0人だったが今の時点では2人、来年度みなと保育園が休園することで単純に40人受け入れが減ると来年度の量の見込みと確保策に問題はないのか。

(事務局)

当日資料1の2ページ「利用実績の見込」をご参照ください。

確保方策が423人、量の見込みが377人となりますので、数字上は問題ないと考えています。

また、令和5年度の1次募集が終了したが現時点では申込に対し、受け皿の確保はできております。

しかしながら、隠れ待機というのは出ています。

0歳児は特に、年度当初にみなさんが希望されるわけではなく、徐々に希望が増えていきます。市内の幼児教育・保育施設に協力いただきながら、なるべく希望に沿えるよう、入所を決定していきたいと考えております。

年度途中からの待機児童への対応へ向かいたいということもあり、公立保育園も0歳児からの保育に向けて準備をしております。公立保育園も頑張りますが、私立の保育施設にもご協力いただき、保育の必要なすべての方へ保育を提供できるように

していきたいと考えております。

(副会長)

当日資料1の2ページ目 確保状況について
線をひいて2号認定だと605というのは間違いですか？

(事務局)

つばさ保育園の利用定員減と、みなと保育園が休園することを受けた結果を示したのですが、分かりにくかったかもしれません。2号の確保方策は令和4年度まで615だったものが605になるという意味です。

(副会長)

令和5年度、みなと保育園が休園しなければ403人の3号認定の枠が確保できたはずということですが、それについてみなさん何かご意見ありませんか。

*意見なし

(会長)

今後、出生数の減少で子どもの数は減っていきませんが、現時点では、どれくらい減少する見込みでしょうか

(事務局)

令和2年3月に策定した第2期計画57ページにある、出生数の推計人数と比較し、令和2年度出生数の実績値は195であり、計画を下回っています。

(事務局)

行政もさまざまな対策はしておりますが、少子化はすぐには止まらない状況です。先ほどもお伝えしましたが出生数は計画より下回っている状況です。令和4年度は昨年度と横ばいの状況ですが、いずれにしても楽観できる状況ではなく、次期計画時に推計を出す際は、厳しい推計になると考えています。

(会長)

出生数の減少は保育施設・学校も含め、かなり深刻な問題だと考えています。他に何か質問はないでしょうか。

(委員)

資料2の5ページ「地域子育て支援拠点事業」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための予約制をとっていたとのことですが、どのような予約制度だっ

たか教えてください。

(事務局)

利用を午前と午後、各 15 組ずつに限定していました。午前・午後に分けたのは間で施設やおもちゃの消毒を行うためです。

施設には様々な部屋がありますが、密を避けるためにも 15 組ということにさせていただきました。

(委員)

今も予約制を続けていますか

(事務局)

鳥取県版コロナウイルス警報が特別警報から警報、その後注意報に変わったがすぐに第 8 波に入ったこともあり、令和 4 年度はずっと予約制をとっています。

(委員)

令和元年度から令和 2 年度で利用者数が約 1,000 名減少したとのことですが、コロナ禍で仕方のない部分もあったかとは思いますが、子育て支援センターを通して子育ての悩みを相談したり、友人と出会うお母さんも多くおられます。読み聞かせの回数も少なく寂しいという声もありました。利用者数が 1,000 名減少しているというのは大きいなと思いました。

(事務局)

ウィズコロナという流れにはなっていますが、小さいお子さんの利用が多いですし、公共施設としては利用者の安全面が一番であると考えていますが、委員のご意見通り、場所の必要性というのを感じていますので、今後も状況をみながら判断していきます。

(委員)

出生数が下がっているという状況で、出生数が上がっている他市の状況を真似してもいいのではないかと思います。

例でいうと、明石市の土木費を何割か削って、子育て支援の財源に充てるなど、令和 8 年度か 9 年度に下水道工事が全部終わるとのことですが、その費用等でなにかできないですかね。

(事務局)

本市は、子育てするなら境港ということを標榜し、子育て支援に取り組んでいます。

皆様のご要望に応えるような政策ができていない部分もありますが、一生懸命しているところでして、その財源についてですが、市全体では様々な事業があり、先ほど言われた、下水道事業もありますし、市民交流センターもできたばかりで、また、公共施設の老朽化など、取り組むべき事業が多くございます。そのような事業を実施しながら、子育て支援事業についてもどのような事業が一番効果的なのかを研究しながら毎年取り組んでおり、昨年度からは寄り添い型の訪問支援事業の実施を始めました。

保育園や幼稚園に通っていない子どもを養育されている世帯の中に、子育ての悩みや相談をどこにしたらいいかかわからないといった状況がないよう、支援員が家庭を訪問し、悩み相談にのったり一緒に育児をしたりする事業です。

今後も状況をみながら新しい子育て施策にも取り組んでいきたいと考えておりますし、国や県の補助金、交付金の活用を研究し、利用できるものは積極的に活用し、子育ての事業を充実させていきたいと考えています。すぐすぐにはならないですが、子育て支援が重要であることは充分理解しております。

(会長)

出生率の上昇もすぐに出るものではないので、いろいろなことをトータル的に考えて、長いスパンで検証していく必要があると思います。

子育てするなら境港を標榜する中で、いろいろな施策をトータル的にみてどうなのかということを検証していく時期がまたくると思います。

その中でも、私が勤める図書館もひとつ何か役を担えたらと考えています。

貴重なご意見をありがとうございました。

(部長)

私からも少しお話をさせていただきます。

出生率の減少はですね、先ほど表でご覧いただいた通り、計画を策定した時の見込みの数字よりも、落ち込んでおります。

特にここ2年は、200人を切るというような状況です。

先ほど会長が申し上げた通り、出生数を短期間に上げる特効薬というのはなかなか難しいのですが、以前から、子どもを産み育てるその環境づくりとして、われわれは3つのことに取り組んでおります。

1つは、若い世代に安定した雇用と収入が得られる状況があること、それから行政による子育ての支援を充実させていくということ。

そしてもう1つは、地域や社会、会社もですが、子育てを応援する、そういった機運の醸成ができていくこと。

これが大きな3つの柱だというふうにとらえております。

企業については、この境港市だけに限らず、今や米子や松江といったところも、通

勤圏内になっておりますので、そういったところが圏域をあげてですね、新たな企業誘致というものにも取り組みます。

あわせて、支援策の充実というところについては、先ほど課長が申しました、特にコロナ禍にあって孤立をした状態を防ぐというところから、昨年度から未就園の子どもさんのいる家庭にして、訪問をさせていただいて、悩みや相談を受ける事業、それから、もう少し子どもさんの月齢が進んで、8ヶ月を過ぎたあたりに、ハイハイ期応援訪問といいまして、離乳食の相談や、ちょうどお母さんが、家庭によっては、職場に復帰をしましょうかというような、そういうお考えの時期、そういった子どもの時期に応じた家庭の悩みというものに寄り添う事業、新たに2つの事業を行っております。

今年度は、先日までに、88の世帯に訪問ですとか、中には、訪問はちょっとまだ遠慮したいということで電話でという方もあって、電話相談も行っております。

そして3つ目の柱ですけれども、不妊治療助成という事業もあるのですが、そこにも鳥取県と連携して助成をしておりますが、非常にデリケートな問題で、会社の中で例えば、通院のために今日明日休暇が欲しいということがなかなか言いづらいのです。

それから、子育てしていると、当然子どもさんが発熱したりして、仕事を切り上げて迎えに行かなきゃならないという状況、それを言いだせない、そういう状況があるということは全国的なアンケートでも出ておりました、今年度に入りましてから商工会議所と連携をいたしまして、会員の企業に、全国の好事例を含めた、情報提供、それから意見の交換というものを行いました。

会社においても、子育てを応援するのだというような機運の醸成をやっていきたいと思います、そのような取り組みも実施しております。

ただ、これが1年や2年、すぐさま数値としてあらわれるかと言うと、大変これ厳しいものがありますけれども、先ほど委員が話をされた明石市の公共事業費の削減も、1つの事例でございますので、市としても、様々な事例や情報の収集、研究をしましてですね、ちょうど今、来年度予算要求時期でございますが、市長は、子育てするなら境港というその標榜、それをしっかりと掲げておりました、子育てに関する予算は、特に配慮した予算編成を行ってきておりますので、私ども事務方もしっかり必要なものは要求していく、そういう考えでございますので、ご理解を賜りたいと思います。

(会長)

とても大事な問題だと思います。

先ほどの話の中でもありましたけど、色々な立場から、色々なところで、子育てを応援する雰囲気だとか、状況作っていくと。

それと、子育てしやすい環境作り、色々なことが関わってくると思いますので、ト

一タラ的に見ていただき、評価していくというところが大切だと思います。

(委員)

意見というよりも、応援になるのですが、今、市内に小学校が6校ございまして、1年間に生まれてくる子どもが、例えば180人となると1つの学年に30人しかいなくなってしまう。今は1クラス30人、2クラスで60人という中で、うちの子たちは学んでいるのですが、それが1学年、30人1クラスっていうのはちょっと寂しい感じがしますので、ぜひたくさん、同級生と遊んだり、勉強できる環境を、みんなで作っていききたいなと思っておりますので、頑張りましょう。

(会長)

そういった気持ちがみなさんに伝わるといいですね。

(委員)

話が変わるのですが、上の子が自閉症スペクトラムという病気で、放課後アフタースクールに通っていて、土曜日に預けようと思ったら、預けられる時間が10時からということなのです。

共働き世帯が多くなっていると、先ほどもお話されていたと思うのですが、10時から預けて、仕事に行けるかどうか。10時から何時まで預けられますかと聞くと、10時から4時までです。

それは共働き世帯からすれば、時間的にちょっと難しい話だと。

他の学童は、8時頃からなのかわからないですけど、そういうところを普及して欲しいですよ、もっときちんと保護者を働かせて欲しいですよ。

経済的な面は、子育てするのに一番大事というか、心の余裕にも繋がってきます。そういう、預かり時間を長くするというところはすごく、ありがたいと保護者としては思います。

放課後等デイサービスについて。土曜日も預かっていただけるのですが、時間が短く、夏休みや冬休みも短縮になったりするのは、共働きだとやっぱりちょっと厳しいです。

開所時間に合わせると、就労時間を短縮せざるを得ない状況になっており、みんな自分たちの時間を犠牲にし、仕事をしていると思うので、保護者に時間的な余裕ができたらいいなと思いました。

(事務局)

私どもも、そういった事業者の方と定期的にお話をする機会がございます。

そういったお声があるということ踏まえてですね、いろいろな意見交換や、新たな方策がないのか、そこにどんな課題があるのか。

そういったところを、事業者の方々とお話してみたいと思います。

(会長)

この件についてどうでしょうか。

(委員)

放課後児童クラブと放課後等デイサービスとは行政の単位が違うので、どのようにお考えなのかとお話を聞きながら思っておりました。

確かに学校の児童クラブですと、朝9時ぐらいから夕方6時のお迎えになっていますけど、先ほど話してくださったように、福祉サービス事業の中にある放課後等デイサービスになると、事業所の実情によって、10時からのところや、9時から受け取ってくださるところもあったりはしますが、おっしゃったように、お仕事の関係からでいうと、8時半から受け取ってくれるような、福祉サービス事業所はなかなか少ないです。

米子の方にはあるのですが、やはり人員の確保や、時間帯の問題についてはそれぞれの事業所の実情がきつとあるのだろうなと思っております。

ただ、現実的ではないかもしれませんが、例えば昔だとファミリーサポートセンターもすごく融通がきいて、意欲的に動いてくださり、今もそうなのかもしれませんが、8時半から10時まで、家で預かってもらって、そのあとデイサービスに連れて行ってとか、そういう形や、サービスの融通性はつくれるのではないかなとは思っております。

(会長)

ありがとうございます。

色々な実態が、意見を出していただくことで見えてくるのですが、これもまた子育てという環境の中で、大きな課題だと思いますので、今後とも、まだそういった難しい課題も出していただけたらと思っています。

よろしいでしょうか。

活発にご意見を出していただき、ありがとうございます。

次第6 その他について、事務局の方から何かございますか

(事務局)

1点ご報告させていただきます。

本日配布させていただきました、「境港市における保育のあり方について」をご覧ください。

令和2年度に策定いたしました、「境港市における保育のあり方について」に基づ

き、現在、公立保育園の一貫保育に向けた施設整備をすすめております。
その進捗状況をご報告させていただきます。

資料にありますように、現在公立3園の施設整備をすすめております。
今年度、なかはま保育園、あがりみち保育園の実施設計を行い、なかはま保育園については改修工事に着手し、あがりみち保育園は来年度工事に着手いたします。
また、わたり保育園につきましては、医療的ケア児の受入にも対応できる施設へ生まれ変わるため、今年度基本計画を実施しており、実施設計にも取り掛かる予定で進めております。
このハード整備に併せ、今後、乳児保育施設への視察や保育士の研修などソフト面の準備を進めていきます。以上です。

(会長)

施設設備についての話も出ましたが、何かございますか。

(委員)

わたり保育園新築工事ですけども、別の土地に建てられるという形ですか。

(事務局)

今の計画で、わたり保育園の園庭の方に新園舎を建ててですね、現存の保育園を壊す予定にしております。

(委員)

新しく建てられて、そちらに移るという形ですか。

(事務局)

保育は止められないので、保育を継続しながらということになります。ただ園庭が狭くなるので、そこは確保策を考えながら、なるべく保育活動に影響がないようにやっていきたいなと思っております。

(委員)

はい。ありがとうございます。

(会長)

新築の施設は医療的ケア児など、障がい児にも対応できる施設になるというところで、いろいろと幅広い、ユニバーサルな施設になるのではないかなと思います。
あと、よろしいでしょうか。

(事務局)

今年度子ども・子育て会議は今回限りとなります。来年度は事業の進捗状況や報告に併せ、第3期計画に向けての協議をさせていただきたいと考えておりますので、次年度もどうぞよろしくお願いいたします。以上です。

(会長)

それでは皆さん、お疲れ様でした。

これで閉会したいと思います。足元が悪いので、気をつけてお帰りください。どうもありがとうございました。

境港市子ども・子育て会議 委員名簿

令和4年11月24日現在

選出区分	氏名	ふりがな	備考
1 子どもの保護者	松篠 利	まつしの とし	小学校PTA連合会会長
2 子どもの保護者	中島 翔太	なかしま しょうた	保育園保護者会連合会長
3 子どもの保護者	築谷 久子	ちくたに ひさこ	聖心幼稚園PTA会長
4 子ども・子育て支援に従事する職員	柏木 克仁	かしわぎ かつひと	境港市保育協議会副会長
5 子ども・子育て支援に従事する職員	遠藤 美和	えんどう みわ	美哉幼稚園園長
6 子ども・子育て支援に従事する職員	荒井 利恵	あらい りえ	企業主導型保育施設園長
7 学識経験者	細田 淑人	ほそだ よしと	境港医師協会 竜ヶ山こどもファミリークリニック院長
8 学識経験者	景山 良恵	かげやま よしえ	境港市読み聞かせ団体 境港親と子どもの劇場代表
9 学識経験者	池淵 菜美	いけぶち なみ	こども未来ネットワーク代表
10 学識経験者	竹内美智子	たけうち みちこ	NPO法人陽なた所長
11 学識経験者	嘉賀 収司	かが しゅうじ	境港市立図書館館長
12 公募委員	宮本 剛志	みやもと つよし	元芝浦工業大学非常勤講師
13 公募委員	舩岡 彩子	ますおか さいこ	境港市学校指導補助員

※1 敬称は、略しています。

【事務局】

境港市福祉保健部長	永井 卓真
境港市教育総務課長	角 純也
境港市子育て支援課長	北野 瑞拡
境港市子育て支援課児童係長	川田 順子